

伝統文化を守る会通信—第19号 2009年2月発行



絹の触れ合う音、時にきりっとした緊張感を与え、
時にやさしい安らぎを与えてくれる気がします。

昨今、絹に似た繊維がいろいろ開発されていますが、絹ならではの音、
天然繊維だけが持つ独特のこの音と同じものはないでしょう。

自然と自然、本物と本物があわさりこすれあい奏でる、
喜びの音楽なのかもしれませんね。

これからも「伝統文化を守る会」は、
本物を大切にしていきたいと思っております。

伝統文化を守る会事務局

〒980-9811 仙台市青葉区一番町2-11-1 榊グランベル内

Tel&Fax 022-268-2171 Fax 専用 022-215-0671



西村宏美

杉野ドレスメーカー女学院卒業
日本女子大学卒業
パリ ES MODE プロ養成機関(CFCM)に
て立体裁断を学ぶ
NDK(日本デザイン文化協会)正会員

平成3年6月
「グランベル」を開店、創作活動に入る
平成9年9月
「伝統文化を守る会」を興し代表となる

Work

1994年よりタイ、イタリア、日本、マレーシア、スイス、台湾、フランス、韓国、ドイツ等、FMT主催の国際ショーに毎年参加。1998年、初のパリコレクション開催。以後、ヨーロッパはパリを中心にコレクション多数開催。1999年より中国人民政府主催の国際ショーに多数参加客演。2005年ドイツ・ベルリン国際ショーに参加。2006年マレーシア・ペナン及び中国・杭州国際ショーに参加。2007年台湾・台北、2008年インドネシアパリの国際ショーに参加。2009年オーストリア国際ショーに参加予定。

～予告～

伝統文化を守る会主催

HIROMI NISHIMURA 2009 デイナーショー

「衣音」

きぬ おと

～色衣と音色につつまれて人生色々華の宴～

2009年6月13日(土) 開催予定!!

(会員モデルファッションショー・西村宏美新作コレクション)

アークホテル仙台 グランドコートにて

(旧 仙台ワシントンホテル2Fレインボーホール)

「伝統文化を守る会」会員の皆様をはじめ、お客様方には大変お待たせ致しました!!

前年度は「伝統文化を守る会」発足10周年を記念して「ファッションショーのためのオリジナル音楽」を作製しました。準備に一年を費やして今春3月に完成予定です。そのCDのタイトルは「衣音」を予定しています。西村宏美の衣とCD「衣音」の音色に包まれて、大人の素敵な一時をお楽しみいただきたい・・・と目下装いも新たに斬新な企画を準備しているところでございます。

詳細が決定したいご通知致しますが、まずは今回の企画内容(予告編)をご覧下さいまして、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。なお、2月現在での企画ですので多少の変更が発生する場合はご了承ください。そして、どうぞ会員の皆様も貴重なご意見・ご希望、耳寄りな情報等を事務局宛にお寄せください。

今後とも「伝統文化を守る会」をよろしく願い申し上げます。

事務局 TEL&FAX 022-268-2171・FAX 専用 022-215-0671

(伝統文化を守る会主催) **HIROMI NISHIMURA 2009** デイナーショー開催予定!

「衣きぬおと音」 ～色衣と音色につつまれて人生色々華の宴～

6月13日(土) 14:30 開場 15:00 開演 19:30 終演 アークホテル仙台 (旧 仙台ワシントンホテル)

お蔭様で、8回目を迎えた「伝統文化を守る会」主催のディナーショー。

第1部はファッションショータイム。第2部はアトラクション&ディナータイム。二部構成を予定。
今回のディナーショーの企画内容について衣音19号で会員様だけに、予告編をお知らせいたします!

第1部ファッションショータイム

◆着物地で創る洋服のファッションショー◆ **会員モデル募集中!**

1998年、第1回「伝統文化を守る会」主催のファッションショー&クリスマスパーティーからロングランで続いている、皆様もお馴染みのコーナーですね。西村宏美デザインのオーダー服をお客様ご本人がモデルとなって披露して下さるコーナーです。筆筈に眠っていた着物や思い出深いお着物が、毎回、斬新なアイディアで、普段着やオシャレ着に生まれ変わります。西村宏美の手に掛かると、今回はどんな服に変身するのでしょうか……。

◆西村宏美デザインの新作コレクション◆

2005年～2008年の国際ショーで発表した作品を、プロのモデルによりご覧いただく海外版新作コレクション。日本の伝統文化に育まれた日本人デザイナーとしての魂の叫び……西村宏美ならではの世界をご堪能ください。

◆ミドルエイジのためのウェディングファッションショー◆ **モデル募集中!(詳細は次頁をご覧ください)**

なんとこのコーナーでは、ミドルエイジの一般モデル限定で、西村宏美オリジナル「ウェディングドレス」をご紹介します。ミドルエイジの魅力を引き出す生地の色・素材を厳選し、少々気になる体型はデザインテクニックを駆使して美しくカバー。“落ち着きの中にも華やぎのある大人のウェディングドレス”があってもよいはずとの思いから生まれました。いち早く時代のニーズをキャッチした、西村宏美の画期的な新企画です。お楽しみに!

第2部アトラクション&ディナータイム

円卓を沢山の笑顔で囲み、シェフお勧めの季節味溢れるフルコース(フリードリンク付)を召し上がっていただきます。カラーゲンやイソフラボン等、女性を美しくする特別メニューを考案中!ご家族やご友人、趣味のグループや同窓会等のお仲間は、同じテーブルでご歓談しながら思い出に残る楽しい時をお過ごしいただきたいと、指定席の配慮をさせていただきます。今回のスペシャルゲストは「大道芸人・しゅうちゃん」をお招きします。風船を使っただけの多彩なパフォーマンス、バルーンアートを目の前でお楽しみください。子供さんから大人の方にも楽しんでいただける夢のようなひとときが待っているはず……。最後に抽選会も用意しています。幸運の女神が貴女にも……どうぞお楽しみに!

宿泊のご案内

2月現在、アークホテル仙台と宿泊料金交渉中

仙台ワシントンホテルは、アークホテル仙台に生まれ変わりました。従来どおり「伝統文化を守る会」が、団体料金(格安料金)で、アークホテル仙台の部屋の手配を致します。2008年に、「安らぎ」をテーマに配色されたインテリアと機能的で清潔感溢れる客室に改装したばかりです。

また、**2009年1月より、大浴場を建設中**。6月には、完成済みとのこと。温泉に行ったような気分でお風呂も堪能できます。宿泊をご希望の方は、お気軽に「伝統文化を守る会」事務局へご相談ください。

結婚記念日の名称………年数・名称・意味

1年	紙婚式	
2年	藁婚式	質素儉約を意味し、贅沢を戒める
3年	革婚式	そろそろ倦怠期、革のように粘り強く
4年	花婚式	花が咲き、実がなるように
5年	木婚式	夫婦がやっと1本の木のようになる
6年	鉄婚式	鉄のように強い人生を
7年	銅婚式	家族、財産の安定を銅に例えて
8年	ゴム婚式	弾力性のある2人の生活を
9年	陶器婚式	陶器を大事に扱ってヒビが入らなかった
10年	錫婚式	錫のように美しさと柔らかさを兼ね備えて
11年	鉄鋼婚式	鋼のように強い愛の力で結ばれて
12年	絹婚式	絹のようなきめ細やかな2人の愛情
13年	レース婚式	さらに深く綾なす愛の証

ミドルエイジのためのウェディングファッションショー

モデル募集中!! (会員様、又はお知り合いの方をご紹介ください)

第1部ファッションショータイムでの「ミドルエイジのためのウェディングファッションショー」は新企画です。結婚年齢が幅広くなったこの頃、初めての人生のスタートが若い頃とは限らなくなりました。また、離婚(別れ)も年々増えている現実を思えば、2度目・3度目のスタートが年を重ねてからである可能性も大いにあるはず。現代の女性達は、人生のスタートを決意するのに年齢は不問なのです。

ところで欧米では、結婚記念日を家族で祝い習慣があります。7年目の銅婚式、25年目の銀婚式、50年目の金婚式は日本でも馴染みですね。人生の荒波を共に乗り越えてきたご夫婦の何年目かの結婚記念のお祝いに・・・御主人が定年を迎えて第二の人生へ船出した御夫婦に・・・等、人生の節目に西村宏美デザインのウェディングドレスを今一度着ていただきたい・・・。そして独身の女性や再婚された方・・・または何らかの御事情でウェディングドレスを着る機会がなかった女性にも、是非一度はウェディングドレスを着ていただきたい・・・。そんな貴女のために、西村宏美は心をこめて「人生色々衣」、ミドルエイジのためのウェディングドレスをデザイン致します。

ミドルエイジの魅力を引き出す生地の色・素材を厳選し、少々気になる体型はデザインテクニックを駆使して美しくカバー、若い頃にはない「落ち着いた中にも華やぎのある大人のウェディングドレス」があってもよいはずとの思いから生まれた西村宏美の画期的なアイディア。フリーサイズのウェディングドレスも研究しながら新作を製作中です。ドレスは西村宏美が提供します。ミドルエイジモデルの「ウェディングドレス姿」を皆で祝福し、会場が暖かい雰囲気にも包まれるようにと願っています。このコーナーのテーマは「家族の絆」です。

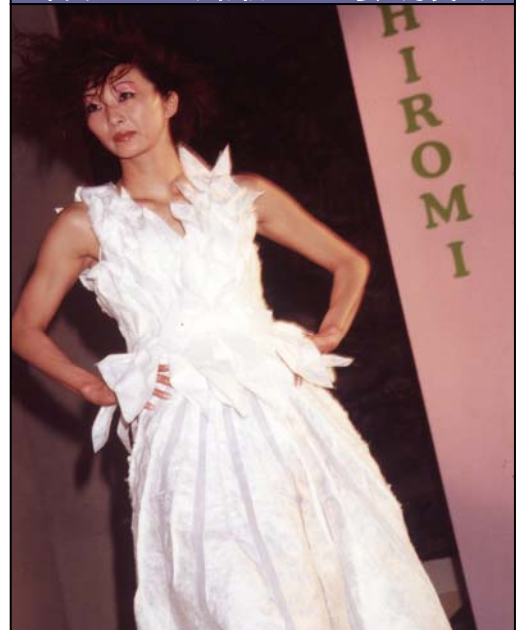
このコーナーの企画に合ったモデルを募集しています

会員様ご自身のご応募、お知り合いの方をご紹介など・・・
 自薦他薦は問いません。ご応募は電話でお待ち申し上げます。
 (なお応募多数の場合はオーディションあり)

西村宏美は、丸森町で新開発した「シルク和紙」で2001年パリコレにウェディングドレスを発表しました。同年、渡辺政巳町長はご結婚され水保様はパーティー(結婚を祝う会)で同ドレスを着用して下さいました。以来伝統文化を守る会とのご縁も深まりました。「エンゼルハートまるもり」は、町長自らが力を注ぐ丸森町結婚相談所です。独身の男女に楽しい出会いのイベントを提供しています。ショー後、西村宏美は、今回の新作フリーサイズのウェディングドレスを「エンゼルハートまるもり」で、是非お役にたてて頂きたいと願っております。
 ...ちなみに渡辺政巳町長もミドルエイジの花婿でした!...



令夫人のシルク和紙のドレス姿 (写真上)



2001 パリコレ作品 (丸森シルク和紙)

結婚記念日の名称・・・・・・・・・・・・・・・・年数・名称・意味	
14年 象牙婚式	象牙のように年齢を重ねて輝く価値
15年 水晶婚式	透明で曇りのない水晶のような信頼
20年 磁器婚式	年代と共に値打ちが増す磁器のような夫婦
25年 銀婚式	結婚生活の一区切り、いぶし銀の美しさ
30年 真珠婚式	富と健康をあらわす海の宝石に例えて
35年 珊瑚婚式	永い年月を経て成長する珊瑚に例えて
40年 ルビー婚式	深赤色のような2人の深い信頼と誠意
45年 サファイア婚式	誠実と徳望で結ばれた結婚生活
50年 金婚式	金色の輝きを得たという豊かさで大きな記念日
55年 エメラルド婚式	深く静かで尊い夫婦の生活
60年 ダイヤモンド婚式	長寿と一族の繁栄を意味する最高の記念日
75年 プラチナ婚式	長寿と一族の繁栄を意味する最高の記念日

ミドルエイジのためのウェディングドレスによせて

西村宏美の思い出のウェディングファッションショーより

当時は、日本中の何処のご家庭の箆笥の中にも着物が眠っていました。若者は欧米のファッションに憧れ、高級ブランドブームに沸いていました。その頃私も若者でしたが、華やかな流行を追いかける既製品の契約デザイナーを辞めました。それまでの経験を生かして新しいことに挑戦したいと思いました。それは、箆笥に眠っている着物を現代の社会生活にあわせた洋服に仕立て、もっと活用していただきたい・・・。日本の伝統衣文化に誇りを持って、日本人の生活の中で育み継承していけたら・・・。時代の波に逆らうようでしたが、思い切って1991年6月、「着物地で創る洋服」の専門店「グランベル」をオープンしました。その後バブルがはじけ日本人のファッション感覚も大きく変化して、今日では「着物地で創る洋服」も、モードの一つとして市民権を得た事に感慨無量です。

オープンから3年を経て、1994年に初めて国際舞台にデビューしました。東北随一の着物産地、伝統工芸品の置賜紬で創作した作品を、タイのバンコックで発表しました。主催国は有名なタイシルクの産地でしたから、日本の絹の雅をアピールしたかったのです。その発表作品が縁をつなぎ、同年11月に米沢市で置賜紬のドレスファッションショーを開催させて頂きました。私は置賜紬の白生地で、初めてウェディングドレスのデザインを手がけました。

それから長き年月を経て、ドレスは本物の絹だからこそ琥珀色に変色しました。一着ずつ手にとると、愛おしいものですね。当時の若かりし自らの日々が蘇ってきました。グランベルの箆笥の中に、絹のウェディングドレスが眠っていることに気がつきました。そして再び、それまでの経験を生かして新しいことに挑戦したいと思いました。

このドレスをミドルエイジの女性のためにリフォームしよう・・・。純白ではないけれど、月日が染め抜いた琥珀色の本物の絹のぬくもりが似合うミドルエイジの美しい女性のために・・・。かくして、ミドルエイジのためのウェディングドレスショーの新企画が生まれました。今回は「家族の絆がテーマ」です。 西村 宏美



置賜紬 ドレスファッションショー 1994年11月開催

還暦・長寿のお祝い早見表・・・・・・・・・・・・・・・・数え年、お祝い名称、お祝いカラー、名称のいわれ

61歳 還暦(赤)	還暦は61年目には生まれた年の干支に戻るため「本掛還り」とも称され、「赤子に還る」という意味があるようです。また「赤色は魔よけになる」ともいわれ、「赤いちゃんちゃんこ・赤い帽子・赤い座布団」など、赤子にならった贈り物をし、さらに長寿をという願いを込めてお祝します。
66歳 緑寿(緑)	2002年9月、日本百貨店協会が提唱、緑々寿の略。
70歳 古希・古稀(紺・紫)	中国の詩人、杜甫の詩の中の「人生七十、古来稀也」の語句から。
77歳 喜寿(紺・紫・黄)	喜の字を草書で書くと「七十七」と読めることから。「しちほご祝い」といって火吹き竹に半紙と水引をかけ配るところもある。
80歳 傘寿(紫・黄・金・茶)	傘の略字が「八十」と読むことができるから。
88歳 米寿(黄・金・茶)	米の字を分解すると「八十八」になることから。88歳は「米の祝い」ともいわれ、米文化の日本と末広がりの八の字2重がさねでおめでたいものです。
90歳 卒寿・卒寿(白・黄)	略字では「卒」を縦読みすると「九十」となることから。
99歳 白寿(白)	百から一をとると白となり計算上「九十九」になるから。白装束を付ける地方もあるそうです。
100歳 百寿・上寿(白)	100歳以降は毎年祝います。紀寿・百賀「101歳:百一賀の祝い」「102歳:百二賀の祝い」・・・